

事業概要

1. 事業目的

本事業は、附属図書館北青葉山分館と北青葉山厚生会館を一体的に改修し、新設する渡り廊下（Knowledge Corridor）によって2棟を緩やかに連結することで、アフターコロナも見据えた学生の多様な学びと生活をフレキシブルにサポートする場となることを目指すものである。

一体的に整備する3棟については NearlyZEB 化を行い、カーボンニュートラル※¹に資する施設とする。

2. 事業規模等

〈改修〉

①附属図書館北青葉山分館（RC-3 3,343 m²）

②北青葉山厚生会館（RC-2 1,425 m²）

〈新築〉

①渡り廊下（S-1 340 m²程度）

3. 基本整備方針

- ・青葉山キャンパス「マスタープラン」及び「開かれたキャンパス」「緑のキャンパス」「環境調和型キャンパス」に基づいた計画とする。
- ・既存の離れた図書館と厚生会館を増築により一体化することで、より魅力的でアクティブな学び/生活の場へと再生する。
- ・「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画」に基づき、「共創」の拠点としての役割を果たすため、「イノベーション・コモンズ※²」へと転換させる。
- ・多種多様なニーズにフレキシブルに対応出来る施設とする。
- ・環境に配慮した技術を積極的に利用することで NearlyZEB を実現し、エネルギー使用量を減らす工夫だけでなく、仙台の気候に適した快適な室内環境を実現する。
- ・「公共建築物における木材の利用に関する基本方針」に基づき内装の木質化を図る。
- ・整備等に要するコスト縮減や工程短縮等を図る。

※¹「カーボンニュートラル」とは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味する。

※²「イノベーション・コモンズ」とは、ソフト・ハードの取組が一体となり、対面とオンラインとのコミュニケーションを融合させながら、あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレイヤーが「共創」できる場であり、教育研究施設だけでなく、食堂や寮、屋外空間等も含めキャンパス全体が有機的に連携した「共創」の拠点である。